

ほうでえ～

ありゃ～のう

# 周防大島町の話題

## みかんづくり・野菜づくりを基礎から学ぶ



周防大島みかんいきいき営農塾開講式

5月16日、みかんづくりの基礎的な技術と知識を学ぶ「周防大島みかんいきいき営農塾」の開講式が、東安下庄の山口県大島柑きつ試験場で行われました。みかん産地の新たな担い手を養成するため、退職して帰ってきた人や新たに就農を考えている方を対象に、今年で第5期目の開講となります。町内のほか県内各地、広島県、神奈川県からの受講生53人は、来年4月まで月1回の講義を受け実習園での作業を体験します。

また、5月23日には「JA生き生き帰農塾」の開講式が山口大島農協本所で行われました。33人が受講するこの講座は主に野菜作りを基礎から学ぶもので、1年間の講義や実習を行います。野菜のほか果樹の管理や花の栽培も学びます。



JA生き生き帰農塾

東京大島ふるさと会（茅原郁生会長・東屋代出身）第22回総会が、5月20日に開催されました。総会には中本町長や地元町議会議員、東和・橘・久賀などの町人会関係者も参加。多くの旧大島町出身者が集い親睦を深めました。

## 東京大島ふるさと会に集う



## 間伐材でアオリイカの人工産卵床

NPO法人「自然と釣りのネットワーク」は5月20日、アオリイカの資源回復を目指し、間伐材による産卵床を設置しました。間伐材は、岩国市錦町の林業者の協力を得て直接伐採したヒノキ50本。会員によるダイバーが潜水し、和沖2カ所の海底に杭で固定しました。

